



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929 東証プライム

第88期

# 中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

# 変化する社会のニーズを捉え 「高機能開口部のグローバルリーダー」 を目指します



代表取締役社長 高山 靖司

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第88期（2022年4月1日～2023年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

## 当第2四半期連結累計期間の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、新型コロナウイルス感染症への対策が継続しつつも、経済活動の正常化が進む中で、景気は持ち直しの動きがみられました。一方で、急激な経済活動の回復に伴う需給逼迫により、原材料価格の高騰や部材の供給不足、サプライチェーンの混乱等による影響が継続し、インフレーションの加速と金利上昇等の金融引き締めや日米金利差の拡大を背景とした急速な円安、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格等の高騰、中国での経済活動の抑制影響等、景気が下振れするリスクが懸念され、先行きに不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループは、2022年度より、長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2030」および「中期経営計画2024」をスタートさせ、気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤の確立に取り組んでおります。この結果、当第2四半期における売上高は268,179百万円、営業利益は21,494百万円、経常利益は19,852百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,487百万円となりました。

## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、直近の為替相場の動向を勘案した想定為替レートの見直し、また米国事業におけるサプライチェーン問題の改善により、売上高は、期初予想より27,000百万円増額の545,000百万円。利益につきましては、営業利益は期初予想より6,000百万円増額の45,000百万円、経常利益は期初予想より4,000百万円増額の42,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想より3,000百万円増額の28,000百万円としております。

株主の皆さまにおかれましては、当社の経営方針並びに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

4月



強風による被害から窓を守る高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガードスクリーンSタイプ」の土間・バルコニー納まりを追加しました。

4月4日発売



【高層オフィスやマンションに最適】シンプルな美観に快適さをプラスしたスチールパーティション「壁面パネル点検口」遮音タイプを追加しました。

4月22日発売



5月



個室内のスペースを有効活用し、より広い開口を確保した医療・福祉施設向け引き戸「スムーズコーナータイプ」を発売しました。

5月9日発売



三和グループの「歴史」「商品」「ESG」「従業員」などをテーマにした紹介動画を公開しました。

5月13日公開



6月



三和ノボフェルム門業のヒンジドアを生産する常熟工場が6月より本格稼働しました。

6月本格稼働



機関投資家さまを対象としたESGスモールミーティングをWeb会議形式にて開催しました。各テーマ毎に当社の取り組みをご説明し、機関投資家の皆さまからのご質問に回答しました。

7月11日開催



7月



【マンションやホテルに最適】周囲と一体化した意匠に安心をプラスしたスチールパーティション「壁面パネル点検口」特定防火設備タイプを追加しました。

7月28日発売



オーバーヘッド社はガレージドア部門においてWomen's Choice Award®を11年連続で受賞しました。

7月受賞



8月



三和ホールディングスの概要と取り組みについて個人投資家さま向けにオンライン会社説明会を実施しました。

8月9日開催



高い意匠性を保ちながら、火災から大切な車や財産を守る住宅用ガレージシャッター「エレガノ」木目調スラット防火設備仕様を追加しました。

8月26日発売



9月



香港・マカオを中心に事業展開しているドアアクセスの総合プロバイダーであるAUB Limitedの全株式を取得しました。

8月31日取得



「統合報告書2022」を発行しました。当社グループの歴史や強み・戦略・ESGサステナビリティへの取り組みなどをわかりやすく紹介しています。

8月31日発行



各内容の詳細情報につきましては当社ホームページのニュースリリースに掲載しております。右記URLまたはQRコードよりアクセスできますので、併せてご参照ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

URL : <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/news/>



## 三和グローバルビジョン2030

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions

～高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、サステナビリティ経営と人材力強化によりすべてのステークホルダーから評価される企業グループとなります。

### 中期経営計画

中期経営計画2024は、「三和グローバルビジョン2030」の基本戦略に基づき、「気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤を確立する」3ヶ年と位置づけ、具体的には以下の基本戦略のもと推進していきます。

- ① 日・米・欧・ア世界4極体制でのコア事業の拡大、強化
- ② 防災・環境対応、製品・サービスのスマート化による顧客価値創造
- ③ デジタル化とものづくり革新による生産性向上
- ④ M&Aを活用したコア事業強化と新規事業領域への拡大
- ⑤ サステナビリティ経営によりグローバルに評価される企業グループへ

### 中期経営計画2024

### 基本戦略

- ① 日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大
- ② アジア事業の成長力強化
- ③ 防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進
- ④ デジタル化とものづくり革新による生産性向上
- ⑤ サステナビリティ経営の推進

各セクター別 数値目標	売上高			営業利益		
	2021年度	2024年度	CAGR (年平均成長率)	2021年度	2024年度	CAGR (年平均成長率)
日本	2,364億円	2,760億円	+5.3%	244.7億円	275.0億円	+4.0%
米州 (ODC)	1,392億円	1,820億円	+9.4%	83.8億円	135.0億円	+17.2%
欧州 (NF)	858億円	990億円	+4.9%	39.4億円	62.0億円	+16.4%
アジア	77億円	160億円	+27.7%	1.2億円	8.0億円	+88.7%
連結	4,690億円	5,800億円	+7.3%	354.9億円	450.0億円	+8.2%

ODC…OVERHEAD DOOR CORPORATION NF…Novoferm Group

#### 基本戦略①

日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大

顧客ニーズに的確かつ迅速に対応し、サービス事業を含めたコア事業の拡大、事業強化を図る



#### シャッター事業・ドア事業のシェア拡大

- ・品揃え拡充と提案力強化による非住宅事業の拡大
- ・差別化製品とチャネル拡大による住宅事業の拡大
- ・事業拡大に向けた体制の強化



#### サービス事業の拡大

- ・国内事業における法定検査の定着と経年劣化への修理・取替提案
- ・米州自動ドア事業の強化
- ・欧州主要市場のサービス事業体制の構築、強化



#### M&Aを活用した事業強化と領域拡大

- ・シャッター事業、ドア事業、サービス事業などコア事業の強化
- ・アクセスコントロールなど、建具からの周辺事業への展開

M&A投資額 **200億円**

#### 基本戦略②

アジア事業の成長力強化

生産・販売体制を再構築しシェア獲得、日米欧に次ぐ第4の柱への基盤構築



#### 設備増強による生産能力の大幅アップ

- ・中国常熟工場の稼働によるヒンジドア事業の更なる拡大
- ・主要工場生産設備刷新（ベトナム、台湾、インドネシア）



#### 販売体制の見直しと多品種化への対応

- ・中国販売体制再編による販売力強化
- ・防火、遮熱市場の攻略による売上拡大
- ・各地域での多品種化の推進



#### 事業体制の基盤強化

- ・ERPシステム導入および三和シャッター上海による集中管理
- ・人材育成プログラムの構築



### 基本戦略③

防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進

気候変動やデジタル化などで変化する社会ニーズに応える防災・環境対応製品の  
品揃え強化と製品・サービスのスマート化を推進する

#### 1 防災・環境対応商品の拡充

	2021年度	2024年度	CAGR (年平均成長率)
防災商品	631億円	810億円	8.7%
気候変動（適応） 対応商品	140億円	180億円	8.7%
気候変動（緩和） 対応商品	774億円	960億円	7.4%
防災・環境対応 商品の売上高合計	1,545億円	1,950億円	8.1%



#### 2 製品・サービスのスマート化を推進

- IoT・電動化対応製品の拡充
- IoTを活用したサービス事業の拡大



### 基本戦略④

デジタル化とものづくり革新による生産性向上

業務プロセスのデジタル化推進、  
生産能力拡大と省力化投資の推進

#### 1 デジタル化の推進

- ・日 本：製販工のシステム連携/社内業務のデジタル化  
：アプリを利用した業務システムの効率化
- ・米 州：ERPとサブシステムによる生産性改善
- ・欧 州：社内プロセスの更なるデジタル化
- ・アジア：ERPによる業務プロセス改善の推進

#### 2 ものづくり革新

- ・日 本：設備の自動化投資、デジタル技術による省力化  
：ロボット等による施工生産性の改善
- ・米 州：米州地域全体での製造体制の最適化
- ・欧 州：欧州レベルでの製造、物流の強化
- ・中 国：常熟新工場設立、生産設備の最新鋭化による生産  
能力拡大

	2024年度（3年合計）
設備投資	340億円
IT投資	120億円
投資額	460億円
前中計から約200億円 増額	

### 基本戦略⑤

サステナビリティ経営の推進

2022年5月、11個のESGマテリアリティに紐づいたKPIを設定。“サステナブルで住み続けられるまちの実現” へ向けた原動力として、次のステージへ

#### ものづくり

商品・サービスを通じて持続可能な社会の実現に貢献

気候変動（緩和・適応）貢献商品  
1,140億円

防災貢献商品  
810億円



#### 環境

Scope1+2 CO2排出量  
10%削減（三和シャッター工業）  
太陽光発電設備（太田ドア工場物流棟）



#### 環境

Scope1+2 CO2排出量  
30%削減（三和シャッター工業）  
水使用量・廃棄物排出原単位  
10%削減（三和シャッター工業）



女性管理職比率 15%（連結）  
女性従業員比率 20%（連結）

事業活動に伴う  
CO2排出量  
実質ゼロを  
目指す

2024

2030

2050

各内容の詳細情報につきましては当社ホームページに統合報告書を掲載しております。  
右記URLまたはQRコードよりアクセスできますので、併せてご参照ください。

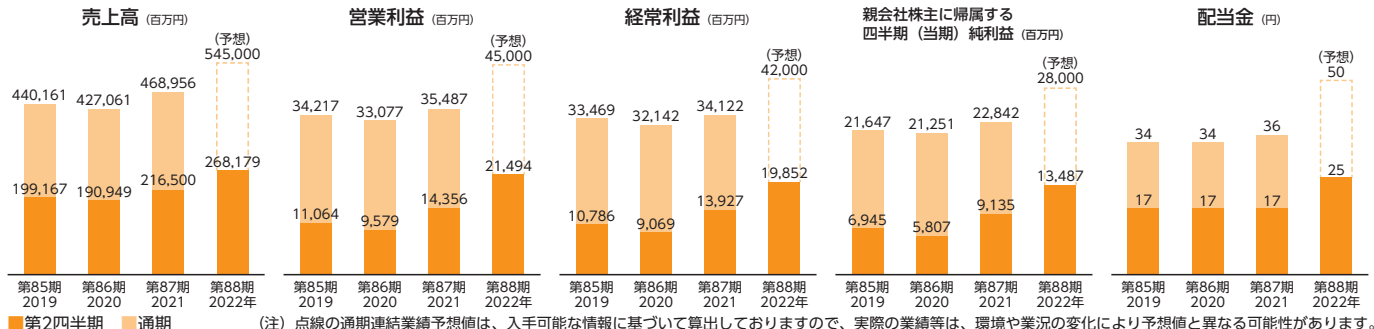
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

URL : <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/annual.html>

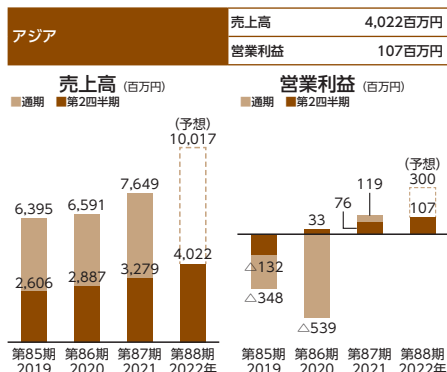
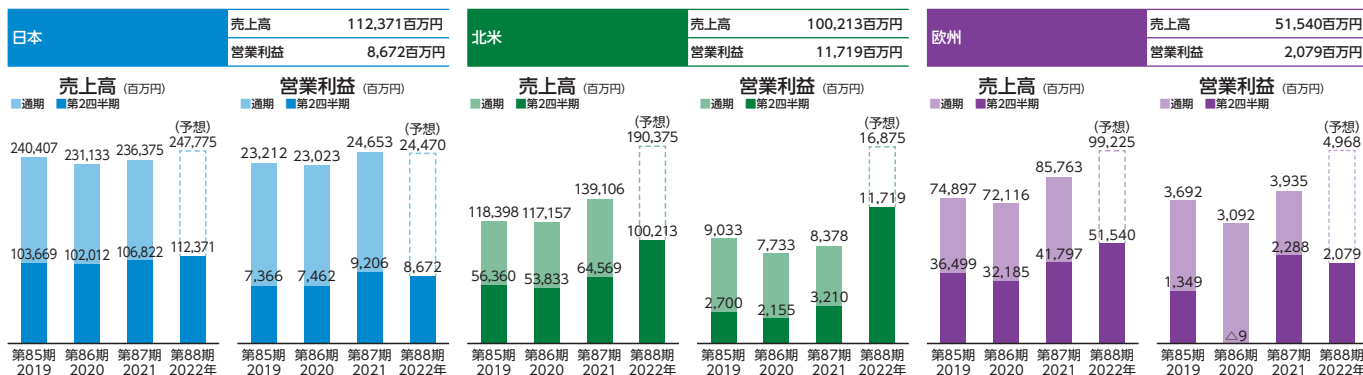


財務ハイライト（連結）

当第2四半期における実績は、三和グローバルビジョン2030、中期経営計画2024に基づく各戦略を実施したことにより、売上高は、前年同四半期比23.9%増の268,179百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比49.7%増の21,494百万円、経常利益は、前年同四半期比42.5%増の19,852百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比47.6%増の13,487百万円となりました。以上の結果、当第2四半期は売上、利益ともに過去最高を更新いたしました。



地域別営業の状況（第2四半期累計期間）



(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。  
 2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業績の変化により予想値と異なる可能性があります。  
 3. 当期より、地域別セグメントの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法を見直し、地域別セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。なお、前期以前のセグメント情報につきましても、変更後の方法により作成しております。

国内では、シャッターやドアなどの基幹商品が堅調に推移し増収を確保しました。利益面では売価転嫁に取組んだものの、想定以上の原材料価格上昇により、前年同期比で減益となりました。

米国ではサプライチェーン問題が徐々に解消され大幅増収となりました。原材料価格の高騰分を売価転嫁と生産性改善等により補い、大幅な増益となりました。欧州では数量増と売価転嫁により大幅増収となりましたが、原材料価格やエネルギーコスト高騰により前年同期比で減益となりました。アジアは上海でのロックダウンの影響があったものの香港や台湾が好調で増収増益となりました。また、急速な円安の進行が、海外事業の円ベースの売上、利益を押し上げました。

## 四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	237,480	267,189
現金及び預金	52,897	50,644
受取手形、売掛金及び契約資産	98,000	108,879
電子記録債権	11,116	11,361
有価証券	9,000	6,500
棚卸資産	63,678	84,659
その他	5,123	8,569
貸倒引当金	△ 2,335	△ 3,424
固定資産	148,756	156,405
(有形固定資産)	(74,967)	(79,165)
建物	23,748	24,821
土地	22,304	22,770
その他	28,914	31,572
(無形固定資産)	(29,573)	(31,891)
のれん	10,789	10,920
その他	18,783	20,971
(投資その他の資産)	(44,215)	(45,348)
投資有価証券	28,756	29,581
退職給付に係る資産	7,776	7,996
その他	8,247	8,367
貸倒引当金	△ 564	△ 596
資産合計	386,237	423,595

※当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額119,095百万円

## 四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)	当第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)
売上高	216,500	268,179
売上原価	151,435	187,651
売上総利益	65,064	80,527
販売費及び一般管理費	50,708	59,032
営業利益	14,356	21,494
営業外収益	553	551
営業外費用	981	2,194
経常利益	13,927	19,852
特別利益	13	26
特別損失	33	31
税金等調整前四半期純利益	13,907	19,847
法人税等	4,667	6,306
四半期純利益	9,240	13,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,135	13,487

科 目	前期末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債	128,981	145,399
支払手形及び買掛金	62,558	65,131
短期借入金	8,190	8,737
1年内返済予定の長期借入金	9,550	17,250
その他	48,682	54,280
固定負債	53,943	46,117
社債	20,000	20,000
長期借入金	9,966	2,186
退職給付に係る負債	12,359	12,715
その他	11,617	11,214
負債合計	182,925	191,517
<b>純資産の部</b>		
株主資本	189,455	198,646
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,732	39,729
利益剰余金	121,256	130,373
自己株式	△ 9,947	△ 9,869
その他の包括利益累計額	12,194	31,735
その他有価証券評価差額金	1,482	1,385
繰延ヘッジ損益	37	430
為替換算調整勘定	11,342	30,645
退職給付に係る調整累計額	△ 668	△ 725
新株予約権	285	255
非支配株主持分	1,376	1,439
純資産合計	203,311	232,077
負債純資産合計	386,237	423,595

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)	当第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,636	3,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,589	△ 4,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,311	△ 4,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,378	1,816
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 5,884	△ 4,252
現金及び現金同等物の期首残高	87,795	61,397
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,003	57,144

## 会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数(連結) 12,884名 (注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478  
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号  
(新宿三井ビル52階)  
TEL (03)3346-3019 (代表)

## 主なグループ会社

### 日本

三和シャッター工業株式会社  
昭 and フロント株式会社  
沖縄三和シャッター株式会社  
三和タジマ株式会社  
株式会社鈴木シャッター  
三和エクステリア新潟工場株式会社  
ベニックス株式会社  
三和システムウォール株式会社  
昭 and 建産株式会社  
田島メタルワーク株式会社  
三和電装エンジニアリング株式会社  
林工業株式会社

### アジア

中国 上海宝産三和門業有限公司  
台湾 安和金属工業股份有限公司  
香港 三和シャッター(香港)有限公司  
鈴木鐵閘(香港)有限公司  
ベトナム VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD.

### 北米

Sanwa USA inc.  
OVERHEAD DOOR CORPORATION

### 欧州

Novoferm Germany GmbH  
ドイツ Novoferm GmbH  
Novoferm Vertriebs GmbH  
フランス Novoferm France S. A. S.  
Novoferm Nederland B. V.  
オランダ Alpha Deuren International B. V.  
イギリス Novoferm UK Holdings Limited

- ホームページアドレス <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

## 役員

代表取締役社長 高山 靖司  
取締役相談役 高山 俊隆  
取締役常務執行役員 山崎 弘之  
取締役常務執行役員 道場 敏明  
取締役 高山 盟司  
取締役 横田 正伸  
取締役 石村 弘子  
監査等委員である取締役(常勤) 在間 貞行  
監査等委員である取締役(常勤) 米澤 常克  
監査等委員である取締役 五木田 彬

経営企画部門担当  
グローバル事業部門担当

- (注) 1. 横田正伸氏、石村弘子氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、横田正伸氏、石村弘子氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 231,000,000株
- 株主数 10,772名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,849	16.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,005	9.50
株式会社三井住友銀行	11,037	4.99
第一生命保険株式会社	8,100	3.66
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	6,234	2.82
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,140	2.32
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,257	1.92
住友不動産株式会社	3,810	1.72
日本製鉄株式会社	3,468	1.56
日本生命保険相互会社	3,348	1.51

- (注) 1. 当社は自己株式9,985,037株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
  - 定時株主総会 毎年6月
  - 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日  
期末配当金受領株主 3月31日  
中間配当金受領株主 9月30日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日 100株
  - 単元株式数 100株
  - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
  - 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  - 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929 東証プライム)
  - 公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インクを使用しています。